



受付第03A0827号  
受付日：平成15年 6月12日

## 品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。  
平成15年 8月 5日

財団法人 建設試験センター  
中央試験所長 勝野中幸  
埼玉県草加市稲荷 20号

試験名称	木造建築用火打ち金物の面内せん断試験
依頼者	会社名：株式会社 タナカ 住宅資材事業部 所在地：茨城県新治郡新治村大畑702番1号
試験体 (依頼者 提出資料)	1. 接合金物 名称：鋼製火打ち金物 商品名：ビス止めパイプ火打 用途：水平構面の隅角部に使用する金物 寸法：鋼管部断面寸法（外径34mm，厚さ1.6mm），全長950mm （図-3参照） 材質：STK400 (JIS G 3444) 表面処理：熔融亜鉛めっき（めっきの付着量；120g/m <sup>2</sup> 以上） 2. 接合具（1箇所あたり） 木ねじ：コーチスクリュー TCS6×70，5-φ6.3×70mm（ねじ部の長さ55mm） 谷の径；4.4mm，ねじ山のピッチ；2.5mm，ねじ先の形状；とがり先， 材質；SWCH 22A (JIS G 3539) 表面処理；ダクロタイズド処理 3. 使用軸組 樹種：べいまつ，寸法：105×150mm 加力梁：含水率；10.7～14.0%，密度；0.48～0.55g/cm <sup>3</sup> 支持梁：含水率；10.2～13.1%，密度；0.49～0.50g/cm <sup>3</sup> 4. 試験体数 6体（引張側3体，圧縮側3体） 参照：図-1～図-4（試験体の形状・寸法）
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計（監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室，企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター）の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」の4.1「火打ち材接合部の面内せん断試験」に従って行った。その詳細を表-1に示す。
試験結果	引張側短期基準モーメント(Mot)：6.18 kN・m 圧縮側短期基準モーメント(Moc)：8.18 kN・m 耐力算定基礎資料：表-2～表-4，モーメント-変形角曲線：図-5～図-13 破壊状況：写真-1～写真-8
試験期間	平成15年 7月 3日 ～ 4日
担当者	構造グループ 試験監督者 橋本敏男 試験責任者 高橋大祐 試験実施者 守屋嘉晃，室星啓和
試験場所	中央試験所